

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年9月18日 (2008.9.18)

【公開番号】特開2007-77155(P2007-77155A)

【公開日】平成19年3月29日 (2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-012

【出願番号】特願2006-252159(P2006-252159)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/537 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/30 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 Z N A E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 39/395 Y

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/537

A 6 1 K 31/704

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 K 37/04

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 16/30

C 0 7 K 16/46

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月31日 (2008.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 図 7 (配列番号: 7) に示すアミノ酸配列からなるポリペプチド; 又は  
(b) (a) で定義されるアミノ酸配列にないし幾つかのアミノ酸の置換、欠損あるいは付加を有するアミノ酸配列からなるポリペプチドであって、癌細胞で過剰発現しているポリペプチド;

を発現する癌細胞の増殖阻害のための薬剤であって、前記剤は前記癌細胞上の前記ポリペプチドと結合する抗体を含み、それにより癌細胞の増殖を阻害するための薬剤。

【請求項 2】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 の薬剤。

【請求項 3】

前記抗体が抗体断片である、請求項 1 の薬剤。

【請求項 4】

前記抗体がキメラ、ヒト又はヒト化抗体である、請求項 1 の薬剤。

【請求項 5】

前記抗体が細胞毒性剤とコンジュゲートしている、請求項 1 の薬剤。

【請求項 6】

前記癌細胞が更に放射線処理あるいは化学療法剤に曝される、請求項 1 の薬剤。

【請求項 7】

(a) 図 7 (配列番号: 7) に示すアミノ酸配列からなるポリペプチド; 又は  
(b) (a) で定義されるアミノ酸配列にないし幾つかのアミノ酸の置換、欠損あるいは付加を有するアミノ酸配列からなるポリペプチドであって、癌細胞で過剰発現しているポリペプチド;

を発現する細胞を含む腫瘍を有する哺乳動物を治療的に処置するための医薬であって、前記医薬は前記ポリペプチドと結合する治療的に有効量の抗体を含み、それにより前記哺乳動物を効果的に処置するための医薬。

【請求項 8】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 7 の医薬。

【請求項 9】

前記抗体が抗体断片である、請求項 7 の医薬。

【請求項 10】

前記抗体がキメラ、ヒト又はヒト化抗体である、請求項 7 の医薬。

【請求項 11】

前記抗体が細胞毒性剤とコンジュゲートしている、請求項 7 の医薬。

【請求項 12】

前記癌細胞が更に放射線処理あるいは化学療法剤に曝される、請求項 7 の医薬。

【請求項 13】

哺乳動物での腫瘍の存在を診断するためのキットであって、前記哺乳動物から得られた組織細胞の試験試料中において、

(a) 図 7 (配列番号: 7) に示すアミノ酸配列からなるポリペプチド; 又は  
(b) (a) で定義されるアミノ酸配列にないし幾つかのアミノ酸の置換、欠損あるいは付加を有するアミノ酸配列からなるポリペプチドであって、癌細胞で過剰発現しているポリペプチド;

をコードする遺伝子の発現レベルを検出する手段を含み、コントロール試料と比較して、試験試料中での前記ポリペプチドをコードする遺伝子の高レベルの発現が、試験試料を得た哺乳動物における腫瘍の存在を示す診断キット。

【請求項 14】

前記ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出する手段が、オリゴヌクレオチドを用いたインサイツハイブリダイゼーションのための手段又は RT-PCR 解析のための手段を含む、請求項 13 のキット。

【請求項 15】

前記ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出する手段が、抗体を用いた免

疫組織化学分析のための手段を含む、請求項 1 3のキット。

【請求項 1 6】

哺乳動物での腫瘍の存在を診断するためのキットであって、

( a ) 図 7 ( 配列番号 : 7 ) に示すアミノ酸配列からなるポリペプチド ; 又は  
( b ) ( a ) で定義されるアミノ酸配列に一ないし幾つかのアミノ酸の置換、欠損あるいは付加を有するアミノ酸配列からなるポリペプチドであって、癌細胞で過剰発現しているポリペプチド ;

と結合する抗体を含み、さらに前記哺乳動物から得られた組織細胞の試験試料中の前記ポリペプチドと前記抗体間の複合体の形成を検出する手段を含み、複合体の形成が前記哺乳動物における腫瘍の存在を示すキット。

【請求項 1 7】

前記抗体が検出可能に標識されている、請求項 1 6のキット。

【請求項 1 8】

前記組織細胞の試験試料を腫瘍を有すると思われる個体から得る、請求項 1 6のキット。

【請求項 1 9】

( a ) 図 7 ( 配列番号 : 7 ) に示すアミノ酸配列からなるポリペプチド ; 又は  
( b ) ( a ) で定義されるアミノ酸配列に一ないし幾つかのアミノ酸の置換、欠損あるいは付加を有するアミノ酸配列からなるポリペプチドであって、癌細胞で過剰発現しているポリペプチド ;

をコードする遺伝子の過剰発現を検出するためのキットであって、癌細胞での前記ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出する手段を含み、コントロール試料と比較して、癌細胞での前記ポリペプチドをコードする遺伝子の高レベルの発現が、前記ポリペプチドをコードする遺伝子の過剰発現を示すキット。

【請求項 2 0】

前記ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出する手段が、オリゴヌクレオチドを用いたインサイツハイブリダイゼーションのための手段又は R T - P C R 解析のための手段を含む、請求項 1 9のキット。

【請求項 2 1】

前記ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出する手段が、抗体を用いた免疫組織化学分析のための手段を含む、請求項 1 9のキット。